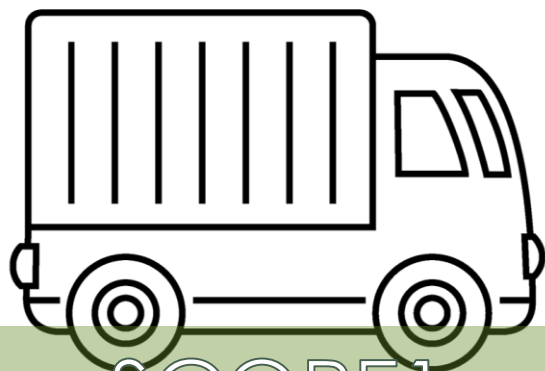




# 株式会社 WOOD LIFE COMPANY

2021年度SBT成果報告

# 各サプライチェーンにおけるCO2排出項目 (項目 = スコープ)



SCOPE1

社用車の燃料（ガソリン・軽油）及び重機の燃料（軽油）、事務所の給湯に使用している都市ガスが対象



SCOPE2

国内および海外において自社が購入した熱・電力からの排出を算定の対象  
(間接排出)



SCOPE3

SCOPE1に含まれない搬入元から自社の工場までの輸送に伴う排出量が対象

# スコープ毎のCO2排出量

2018年度～2021年度CO2排出量

排出量が削減された要因

スコープ/カテゴリ	排出量 [t-CO2]			
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
サプライチェーン排出量	3,021.54	2,904.95	2,554.61	1,946.48
スコープ1	700.58	504.79	320.65	346.90
スコープ2	196.96	202.16	160.96	23.58
スコープ3	2,124	2,198	2,073	1,576

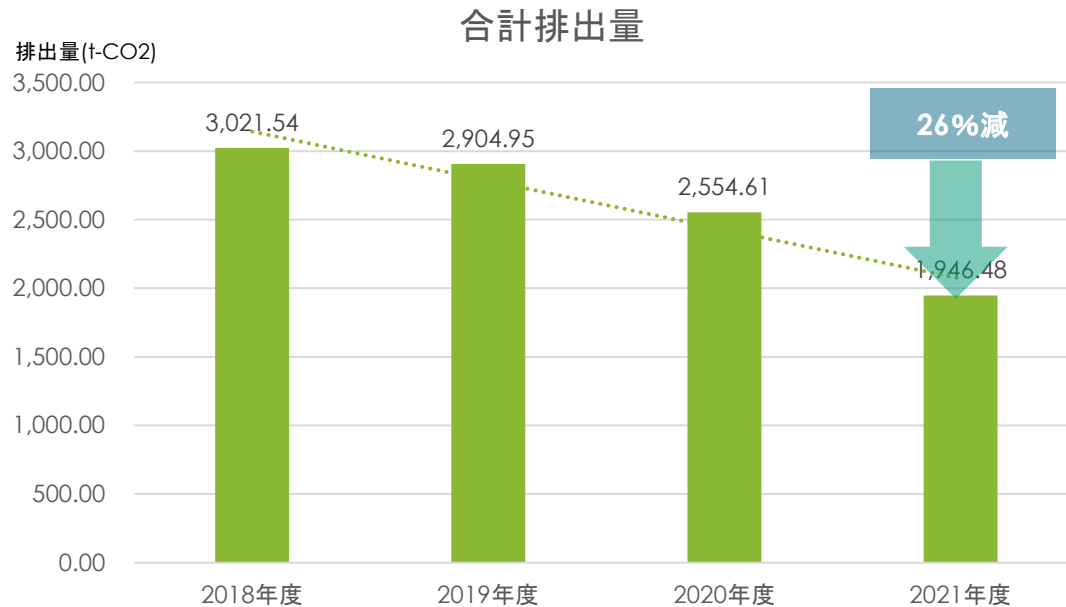
- 使用する電気を2021年8月より再生可能エネルギー電気へ切り換え
- コロナ禍の影響を受けての景気の低迷

# 合計 排出量

(サプライチェーン排出量)

## 現状と課題

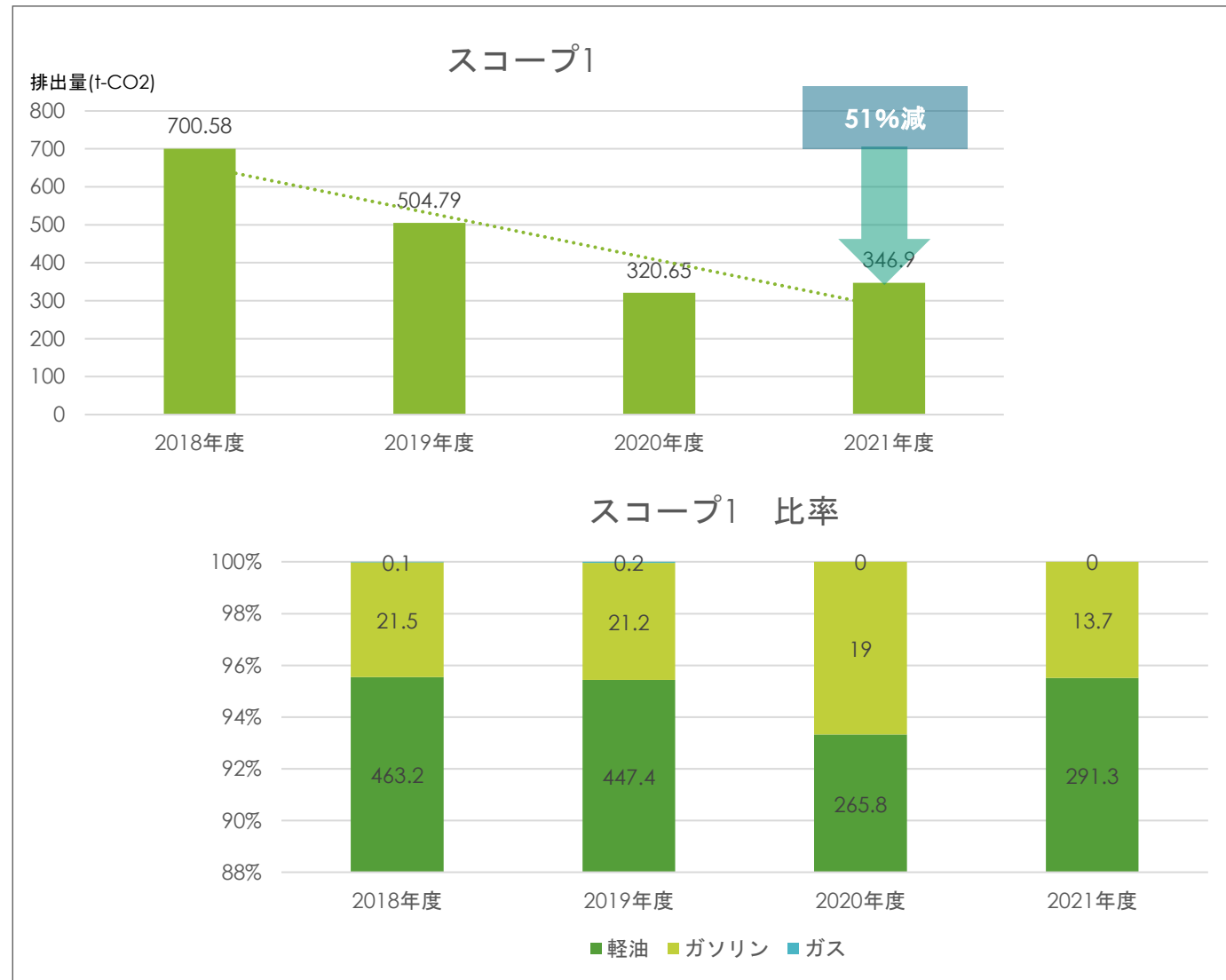
- 2018年度と比べ、2021年度は約1075 t（約26%）の削減を実現している。
- 容易に取り組める再生可能エネルギーから発電される電気へ切り替えが完了したため、今後取り組む内容の検討が重要事項である。



# SCOPE1 CO2排出量

## 現状と課題

- 2018年度と比べ、2021年度は約353 t（約51%）の削減を実現している。
- この削減は、コロナ禍の影響によるものであり、直接働きかけた成果ではない。
- 現在軽油のみを使用している重機をハイブリッド重機へ変える等の見直しが重要となる。



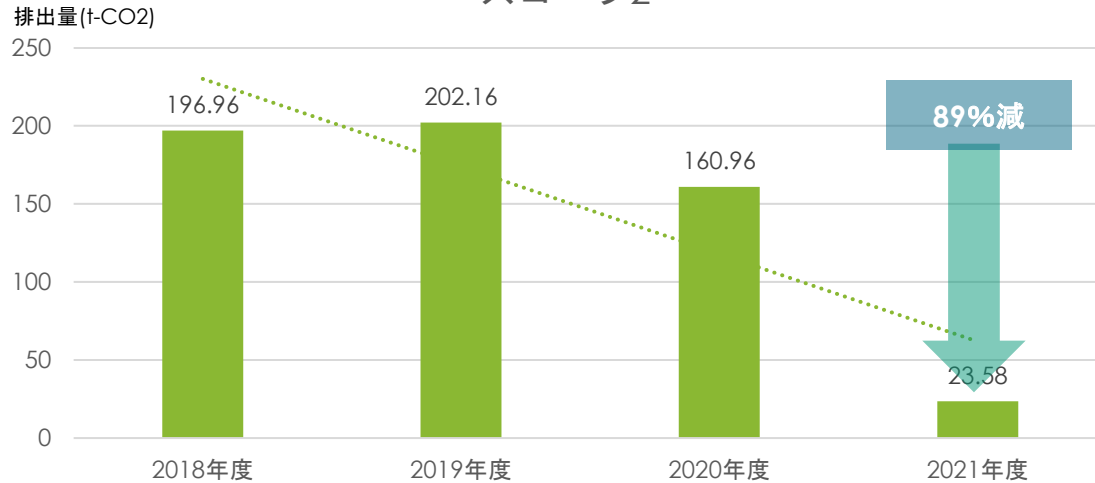
# SCOPE2 CO2排出量

現状と課題

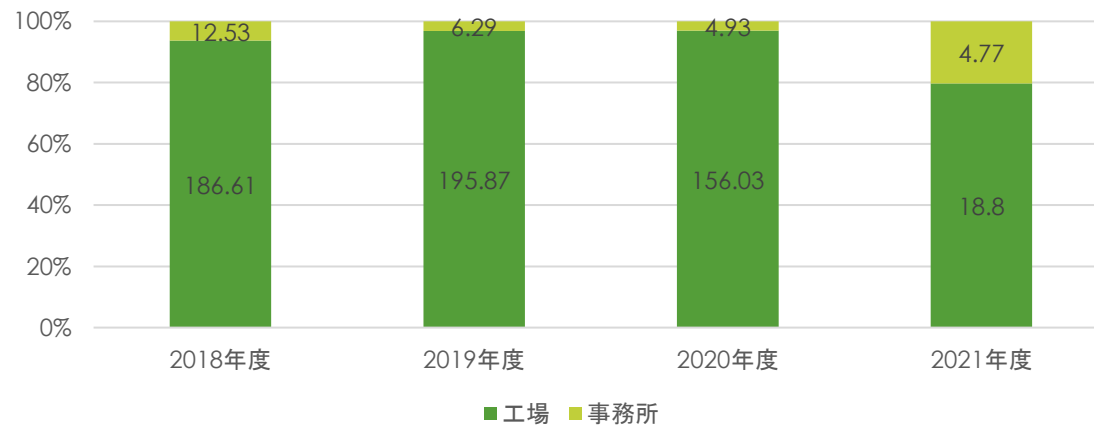
- 当社工場が2021年8月より再生可能エネルギーによって発電された電気を使用したことにより、大幅なCO2排出量削減ができた。
- 事務所に関しても再エネ100%の電気を導入する予定である。



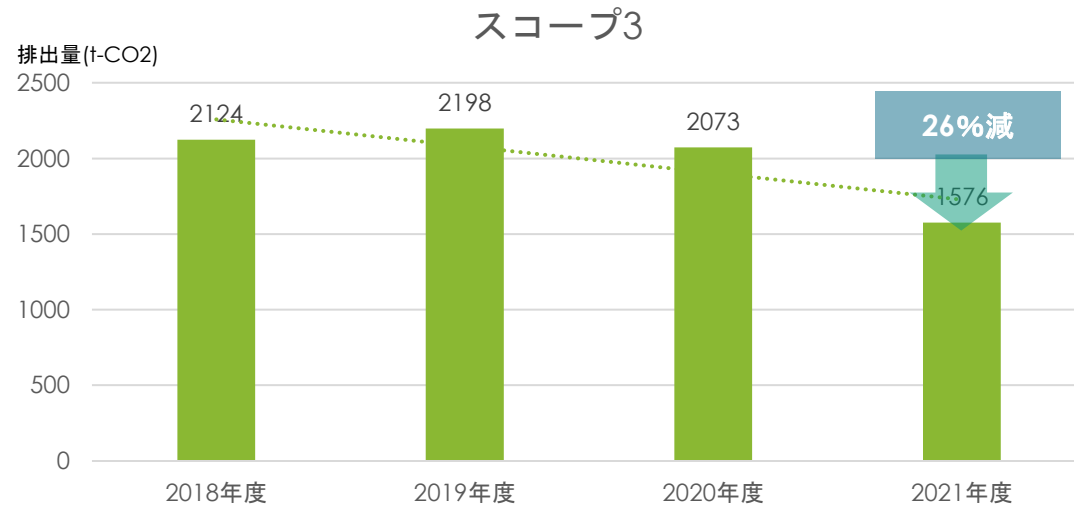
## スコープ2



## スコープ2 比率



# SCOPE3 CO2排出量



## 現状と課題

- 2018年度と比べ、2021年度は約548 t（約26%）の削減を達成している。
- コロナ禍の影響により、ガソリン車を変わず使用しているにも関わらず、CO2排出量が減少している。
- 現在、調達・出荷時に使用するトラックは全てガソリン車であり、見直す必要が大いにある。



## 今後の目標

- 2030年までに2018年比30%の削減
- 2050年までに2018年比80%の削減
- 事務所へ再生可能エネルギーによって発電された電気の導入
- 車両、重機等をハイブリッド機へ入替